



2025年12月19日

各 位

会 社 名 n m s ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 横口 晋平
(コード: 2162 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 経理部長 川村 岳生
(TEL: 03-5333-1711 (代表))

当社連結子会社における損失の発生および 過年度の有価証券報告書等の訂正に関するお知らせ

当社連結子会社において、過去の取引で発生した損失を認識するとともに、当該損失に係る会計処理について検討を進めてまいりました結果、過年度の有価証券報告書等の訂正報告書を提出する必要があることが判明いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

株主、投資家をはじめとする関係者の皆様には、ご迷惑およびご心配をおかけいたしますことを、心よりお詫び申し上げます。

記

1. 事案の概要（損失の内容）

当社の連結子会社であるパワーサプライテクノロジー株式会社（以下、「P S T」という）において、2015年から2018年にかけて販売した製品に関し、品質不具合への対応として、取引先において交換対応等に係る費用が発生いたしました。

当該費用の負担についてP S Tは取引先および関係先との間で協議を継続してまいりました結果、P S Tが当該費用の一部を負担することとなりました。P S Tが今後負担する金額は約716百万円であり、今後5年間にわたり分割して支払う予定です。

本件事案については、2025年12月8日にP S Tより当社代表取締役に報告されたことを受け、詳細な経緯の調査を進めているところであり、調査が終わり次第、速やかに開示いたします。

2. 過年度の有価証券報告書等の訂正が必要となる理由

上記事案についてP S Tが今後負担する約716百万円については、これまで費用処理されておりません。現在、当該事項について当社の会計監査人と協議を進めておりますが、過年度における取引先および関係先との協議状況、契約関係等を踏まえ、当該損失について、過年度において費用処理する必要があったと認識しております。

また、当該損失が過年度の連結財務諸表に影響を及ぼすことから、有価証券報告書等の訂正報告書を提出する必要があると判断いたしました。

3. 今後の予定

訂正の対象となる期間、具体的な影響額および計上方法については現在精査中であり、現時点では確定しておりませんが、引き続き会計監査人と協議を行い、準備が整い次第、速やかに有価証券報告書等の訂正報告書を提出いたします。

4. 業績予想に与える影響について

本件が当社の連結業績予想に与える影響については、現在精査中です。

現時点では、2026年3月期の連結業績予想について修正は行わない予定ですが、今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上